

平成 30 年 3 月になりました



3 月は

3 月(さんがつ)は、グレゴリオ暦で年の第 3 の月に当たり、31 日間ある。3 月はその年の 11 月と同じ曜日で始まり、平年には 2 月と同じとなる。日本では、旧暦 3 月を弥生(やよい)と呼び、現在でも新暦 3 月の別名としても用いる。弥生の由来は、草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月(きくさいやおひづき)」が詰まって「やよひ」となったという説が有力で、これに対する異論は特にない。他に、花月(かげつ)、嘉月(かげつ)、花見月(はなみづき)、夢見月(ゆめみつき)、桜月(さくらづき)、暮春(ぼしゆん)等の別名もある。

Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/3%E6%9C%88>

☆ 2018 年 3 月の税務

期 限	項 目
3 月 12 日	▶ 2 月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付
3 月 15 日	▶ 前年分所得税の確定申告
	▶ 所得税確定損失申告書の提出
	▶ 前年分所得税の総収入金額報告書の提出
	▶ 確定申告税額の延納の届出書の提出
	▶ 個人の青色申告の承認申請
	▶ 前年分贈与税の申告
	▶ 国外財産調書の提出
	▶ 個人の道府県民税・市町村民税・事業税(事業所税)の申告
4 月 2 日	▶ 個人事業者の前年分の消費税・地方消費税の確定申告
	▶ 1 月決算法人の確定申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・(法人事業所税)・法人住民税>

▶	1月、4月、7月、10月決算法人及び個人事業者(前年12月分)の3月ごとの期間短縮に係る確定申告 <消費税・地方消費税>
▶	法人・個人事業者(前年12月分及び当年1月分)の1月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>
▶	7月決算法人の中間申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・法人住民税>(半期分)
▶	消費税の年税額が400万円超の4月、7月、10月決算法人の3月ごとの中間申告<消費税・地方消費税>
▶	消費税の年税額が4,800万円超の12月、1月決算法人を除く法人の1月ごとの中間申告(11月決算法人は2ヶ月分)<消費税・地方消費税>

<http://www.essam.co.jp/eigyosyo/sendai/tax-calendar.html>

☆ 2018年(平成30年)3月から変わること

2018年3月、新規受付停止し PHS の歴史に幕

<https://www.j-cast.com/2017/04/21296241.html>

ソフトバンクとウィルコム沖縄は2017年4月20日、PHSサービスの新規受け付けと契約変更を18年3月末に停止すると発表した。既存の契約者へのサービスは当面継続する。

アサヒビールは業務用を中心としてビール系飲料を2008年以来10年ぶり値上げ

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO21888740U7A001C1TJ2000/>

2018年3月1日～、日本郵便、ゆうパック平均12%値上げ

https://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ05HSC_V00C17A9000000/

2018年3月1日～、森永乳業、アイス10%値上げへ「ピノ」などの一部

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO2415068001122017XQH000/>

2018年3月1日～、ハウステンボス、入場料金を100円の値上げ

<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1711/17/news096.html>

2018年3月29日、日比谷に『東京ミッドタウン日比谷』がオープン予定

<https://news.allabout.co.jp/articles/o/22141/>

☆ 3月決算が多いって本当か？

国税庁は毎年、法人税や所得税等各種税目別の申告者数や申告金額などを統計資料として発表しています。

参考 Web サイト 国税庁統計情報 <https://www.nta.go.jp/kohyo/tokei/kokuzeicho/tokei.htm>

その中に「決算期別の申告法人数」(年ごとに統計年報／直接税／法人税の中にあります)のデータがあります。

「3月決算が多いって本当？」という疑問を統計資料から確認してみましょう(年1回決算法人を対象)。

平成26年度申告法人数(年1回決算法人)

	申告法人数	比率	黒字法人	比率	赤字法人	比率
4月	185,544	7.11%	51,990	6.53%	133,554	7.37%
5月	214,951	8.24%	63,118	7.93%	151,833	8.38%
6月	252,052	9.66%	75,134	9.44%	176,918	9.76%
7月	198,976	7.63%	57,341	7.20%	141,635	7.82%
8月	228,825	8.77%	65,129	8.18%	163,696	9.03%
9月	284,866	10.92%	86,370	10.85%	198,496	10.95%
10月	119,894	4.60%	35,176	4.42%	84,718	4.67%
11月	87,925	3.37%	26,992	3.39%	60,933	3.36%
12月	261,511	10.03%	83,029	10.43%	178,482	9.85%
1月	92,110	3.53%	26,470	3.32%	65,640	3.62%
2月	173,281	6.64%	50,256	6.31%	123,025	6.79%
3月	508,507	19.49%	175,196	22.00%	333,311	18.39%
合計	2,608,442	100.00%	796,201	100.00%	1,812,241	100.00%

出典：国税庁Webサイト

全申告法人数 2,608,442 社のうち 508,507 社、割合にして 19.49%が 3月決算という結果が出ました。次に多いのは、9月決算、その次に多いのは 12月決算です。

日本では 3月決算が多い印象がありますが、数字で見ると 20%だということがわかります。

出典：https://www.noc-net.co.jp/blog/2016/06/column_143/